

## シリーズ【中学校部活動の休日の地域移行】

### 地域部活動コーディネーターのプロフィール

いがわ ゆういち

井川 雄一さん(写真左)

保健体育教諭として、旧菊阿中5年を皮切りに、大津中15年大津北中7年勤務。(大津町関係)部活動はサッカー部を指導。退職後現在は、スポーツの森大津FCジュニアユースを指導。趣味はサッカー観戦、映画鑑賞。

あかほし せいじ

赤星 誠司さん(写真右)

大津中18年(音楽教諭14年、教頭2年、校長2年)、大津小2年(教頭)、大津高校4年(音楽教師)。部活動は吹奏楽部を指導。マーチングで九州大会に20回、全国大会に2回出場。趣味は読書、カラオケ、晩酌。(特に教え子たちからの飲み会のお誘いを心待ちにしている)



令和4年12月にスポーツ庁・文化庁から「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン」が策定されました。これを受けて大津町では、令和5年度から中学校部活動の休日の地域移行を段階的に進めていくことになりました。

今回から、町民の皆様には生涯学習情報誌を通じて、中学校部活動の休日の地域移行の意義や具体的な取組、スケジュールなどをお知らせします。シリーズで連載する内容は以下のとおりです。

- ①【どうなる中学校の部活動】
- ②【地域移行のスケジュール】
- ③【地域移行への具体的な取組】
- ④【まとめ】

## 今月号は、①【Q, どうなる中学校の部活動! ?】

「中学校の部活動ってなくなるの?」と思っている方も多くおられるのではないのでしょうか。“安心していただき現段階では中学校の部活動がなくなることはありません”今回の取組は休日の部活動を地域に移行するものであり、平日の部活動は今までどおりに継続していきます。

大津町では、本年度から中学校部活動の休日の地域移行に関する取組を段階的に進め、令和8年度から中学校のすべての部活動の休日の活動を地域に移行することを目標としています。

ではなぜ休日の部活動を地域に移行する必要があるのでしょうか。

学校部活動は、スポーツ・文化芸術に興味関心のある生徒が、自主的・自発的に参加し、部活動顧問の下、学校教育の一環として行われ、我が国のスポーツ・文化芸術の振興を担ってきました。また、体力や技能の向上を図る以外にも、異年齢との交流の中で、生徒同士や生徒と教師等との好ましい人間関係の構築を図り、自己肯定感、責任感、連帯感を高めたりするなど、生徒の自主的で多様な学びの場として、高い教育的意義を有してきました。しかし、少子化が進む中、学校部活動を今までのような体制で運営することが難しくなっており、学校や地域によっては部活動の存続そのものが難しい状況にあります。また、専門性の有無に関わらず教師が顧問を務めるこれまでの指導体制を継続することは、学校の働き方改革が進む中、より一層厳しくなってきます。

また、学校においては、生徒のニーズに応じた部活動の種類・部員数の確保が難しく、合同部活動も増加している状況です。そのような中で生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動を実現するためには、学校と地域との連携協働により、学校部活動の在り方に関し速やかに改革に取り組み、生徒や保護者の負担に十分配慮しながら、持続可能な学校部活動の環境を整備する必要があります。



次回は②「地域移行のスケジュール」についてです!!

このシリーズへのご意見やご質問はご気軽におたずねください ☎096(293)2146 赤星・井川